



知れば知るほど楽しくなる

2023.8

# OTARU HEART JOURNAL

「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」

～「民の力」で創られ蘇った北の商都～

アンケート  
特集号

第1号



日本遺産候補地域

## 北海道の『心臓』 と呼ばれたまち・小樽

～「民の力」で創られ蘇った北の商都～

小樽市では、小樽独自の貴重な歴史文化遺産を日本遺産として登録するための取り組みを進めてきました。その結果、文化庁より「日本遺産候補地域」として認定され、現在本認定に向け取り組みを推進しています。本アンケートはその一環で、多くの市民の理解を促進するために行われます。

## ストーリーの概要

かつて小林多喜二は、小樽のまちを、北海道の「心臓」と表現しました。明治以降、港と鉄道の「大動脈」により、多数の物資と人が押し寄せ、巨大なニシン番屋、石造りの倉庫などを造っていきました。明治後期には、大手銀行や商社の支店が進出し、経済の「血液」、金融の力で北日本随一の商都に飛躍して栄華を極め、運河をはじめ近代的インフラが「骨格」としてまちを支えました。

昭和後期、小樽運河保存運動を経て、まちを愛する市民たちの「民の力」で、ロマン溢れる歴史的建造物とまち並みの魅力が再発見され、カフェなどの飲食店、博物館等の文化施設に活用されていきました。かつての商都から、文化と観光の「心臓」に生まれ変わった小樽は、国内外から訪れる人々を魅了し続けています。

写真提供：小樽市総合博物館

山折り(郵送の場合)

84円  
切手を  
貼って  
下さい

047-0031

小樽市色内1丁目9番6号  
株式会社オー・プラン内

日本遺産磨き上げ推進事業  
アンケート係 行

※無記名でも構いません。

【差出人】                      ご記入日                      年                      月                      日

ご住所 〒                      ー
お名前

山折り(郵送の場合)

✂キリトリ✂(郵送の場合)

## Sub Story of Heart 「斜陽のまち」から観光都市へ 「北海道の心臓」サブストーリー ・「民の力」による再生

昭和40年代、高度経済成長期に取りのこされた小樽では、増え続ける車社会の対応や経済再生のために倉庫を取り壊し、運河を埋め立て道路にする計画が決定し、有幌地区の倉庫群の取り壊しが始まりました。

そのとき「まちの記憶」を守ろうと保存運動が起こります。10年にもわたる小樽運河を守る会と市民による「小樽運河保存運動」の始まりです。運動は、当初、すでに工事が開始され、市民が近づかない運河を守る意義が問われ、四面楚歌の状態でした。しかし、運動が訴え続けた「地域に生きるとは何か」というメッセージに若者たちが応え、運河とその周辺の石造倉庫を舞台にした市民手づくりのイベント「ポートフェスティバル・イン・オタル」(写真)を開催し、6万人もの市民らが運河を訪れました。若者たちは署名活動にも奔走し、2か月で9万7千人の署名を集め、運河保存の気運を高めました。運動が受け入れられた背景には、港湾都市、商都としてまちをつくってきた市井の人々の誇りと「民の力」の伝統がありました。歴史を生かす新たな展望と具体的な代替道路案を提案した運動は、その後のわが国のまちづくり運動のお手本と言われ全国から注目されています。

✂キリトリ✂(郵送の場合)

日本遺産候補地域

## 「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」

## 構成文化財のご紹介

※アンケートの回答は裏面の「アンケート回答」にご記入ください。



### 天狗山からの眺望(小樽港)

近代初頭の北前船交易からはじまり、石炭輸送の拠点港となった小樽港。階段状にせりあがった独特の地形と、かつての商都小樽を一望できる景観です。

問1 天狗山の山頂から小樽港を  
観たことはありますか？



### 旧手宮鉄道施設

1880年代に石炭輸送のために建設された幌内鉄道にかかわる施設群。日本の近代化を支えた北海道の石炭はここから全国に運ばれました。

問2 小樽は、北海道鉄道発祥の地  
であることを知っていますか？



### 小樽市総合博物館所蔵鉄道車両群

明治18(1885)年製造の「しづか」号、明治28(1895)年製造、国産2号機「大勝」号などの蒸気機関車をはじめ、鉄道による物流を担った貴重な車両群6両です。

問3 「しづか」号を見たことが  
ありますか？



### 旧手宮線散策路

明治13(1880)年に部分開業した幌内鉄道の一部。日本の近代化を支え続けた路線。軌道を残したまま公園として整備されています。

問4 旧手宮線散策路を歩いたことが  
ありますか？



### 小樽港北防波堤

明治41(1908)年に完成した日本初の外洋防波堤。廣井勇の設計・指導による、小樽港の価値を決定づけた記念碑的な構造物です。

問5 小樽がかつて北海道物流の拠点  
だったことを知っていますか？



### 小樽港築港関係資料(小樽港湾内事務所内)

明治末期から昭和にかけての北防波堤など小樽港築港関係資料群です。「百年試験」のモルタルブリケットなど土木技術の粋を集めた工事を物語ります。

問6 この資料群を見たことが  
ありますか？

✕キリトリ✕ (郵送の場合)

## アンケート回答

- 問1 天狗山の山頂から小樽港を観たことがありますか？  
 ある  ない
- 問2 小樽は、北海道鉄道発祥の地であることを知っていますか？  
 知っている  知らなかった
- 問3 「しづか」号を見たことがありますか？  
 ある  ない
- 問4 旧手宮線散策路を歩いたことがありますか？  
 ある  ない
- 問5 小樽がかつて北海道物流の拠点だったことを知っていますか？  
 知っている  知らなかった
- 問6 この資料群を見たことがありますか？  
 ある  ない
- 問7 小樽の握り寿司を食べますか？  
 よく食べる  たまに食べる  食べない
- 問8 小樽の蒲鉾を食べますか？  
 よく食べる  たまに食べる  食べない
- 問9 小樽のもちを食べますか？  
 よく食べる  たまに食べる  食べない
- 問10 本紙を読んで小樽の歴史への理解が深まりましたか？  
 (いずれかの番号に○印をお願いします。)
- |         |   |   |   |         |   |   |   |   |      |
|---------|---|---|---|---------|---|---|---|---|------|
| 1       | 2 | 3 | 4 | 5       | 6 | 7 | 8 | 9 | 10   |
| 深まらなかった |   |   |   | どちらでもない |   |   |   |   | 深まった |
- 問11 「日本遺産」という言葉を聞いたことがありますか？  
 聞いたことがある  聞いたことがない

✕キリトリ✕ (郵送の場合)

## アンケートのご記入について

日本遺産候補地域「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」を推進するために、本認定に向け令和3年度よりさまざまな取り組みを行なっています。小樽が持っている質の高い歴史文化情報を、市民の皆さんが深く理解し今後も大切に育み将来に残し伝えていくために、現状の認知度を知り、どのように向上させるのかを検討するためのアンケート調査です。ご理解の上、ご協力をお願いします。

インターネットからもご応募できます



《主催》  
 小樽市日本遺産推進協議会  
 《連絡先》  
 日本遺産磨き上げ推進事業 アンケート係  
 〒047-0031 小樽市色内1丁目9番6号 (株)オー・プラン内  
 TEL:0134-29-1003 FAX:0134-29-0594  
 MAIL:daihyo@o-plan.com

小樽文化遺産ポータル



のりしろ

谷折り (郵送の場合)

- 問12 「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」というフレーズを聞いたことがありますか？  
 聞いたことがある  聞いたことがない
- 問13 このロゴマークを見たことがありますか？  
 見たことがある  見たことがない
- 問14 小樽は歴史を活かしたまちづくりをしていると思いますか？  
 思う  思わない
- 問15 あなたは小樽への愛着や誇りをお持ちですか？  
 (いずれかの番号に○印をお願いします。)
- |    |   |   |   |         |   |   |   |   |    |
|----|---|---|---|---------|---|---|---|---|----|
| 1  | 2 | 3 | 4 | 5       | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| ない |   |   |   | どちらでもない |   |   |   |   | ある |



谷折り (郵送の場合)

小樽の明治から大正・昭和にかけてのものやこと、エピソードなど、直接知っていることや、伝え聞いたことなど、些細なことでも結構ですので、教えてください。

あなたの家や店のお宝エピソード

谷折り (郵送の場合)

のりしろ

↑ FAX 送信方向

《居住地》  小樽市内  小樽市外  
 《性別》  男  女  
 《年齢》 歳

谷折り (郵送の場合)

のりしろ



日本遺産候補地域

## 北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽

～「民の力」で創られ蘇った北の商都～

Sub Story of Heart  
 「北海道の心臓」サブストーリー

## ニシン漁がもたらした巨大な富。全身労働の腹を満たす「小樽めし」

今日の小樽の基盤は、江戸時代以前に始まり明治に本格化したニシン漁で得た巨大な富と、北前船による本州との交易、そこで構成された有形無形の財によってもたらされました。小樽は、ニシン番屋や銀行建築などの歴史的建造物のほか、小樽以外の土地とのつながりの中で、さまざまな食文化を引き込み、また送り出してきました。

一攫千金を夢見て小樽に渡った人たちのエネルギー、財をなし福祉や文化を支援した小樽商人たちの「民の力」によって創られた北の商都。そして小樽に集まった人たちが、全身労働で疲れた体で飯を食い、酒を飲み、甘味を摂り、あすへのエネルギーを蓄え、たくましく生きた姿。歴史と文化が色濃く残るまちで、「小樽めし」はいつも人々の腹と心を満たしています。



写真提供:小樽市総合博物館



写真提供:小樽市総合博物館



港町小樽の名物  
**寿司**

握り寿司、押し寿司、飯寿司と、小樽では様々な寿司文化を堪能できます。握り寿司は明治の終わり頃に「蛇の目寿司」という小樽を代表する人気店があったとの記録があります。



問7 小樽の握り寿司を食べますか？



写真提供:かま米



市場のお惣菜から始まった  
**蒲鉾**

美味しい蒲鉾に必要なのは新鮮な魚とそれを引き立てる水。明治20年代半ばから始まった小樽の蒲鉾製造。現在市内に12店の蒲鉾店があり、それぞれ独自の蒲鉾を製造しています。



問8 小樽の蒲鉾を食べますか？



所蔵:小樽市総合博物館



腹持ちが良いと愛された  
**もち**

北前船によるもち米や砂糖の移入、道内からの小豆などが集まり、早くから菓子製造が盛んだった小樽。漁夫や荷役作業の港湾労働者に腹持ちが良いと好まれました。



問9 小樽のもちを食べますか？

※アンケートの回答は左面の「アンケート回答」にご記入ください。

## 小樽市日本遺産推進協議会 発行冊子

### 小樽食文化探訪

### 「おいしい小樽めしをどうぞ！」



遠く北前船が往来していた時代に本州から伝わった食。北国の厳しい生活の中で育まれてきた食。それらの伝統の食に近年の新たな食を加え「小樽めし」としてまとめた一冊です。(A5判・40頁)

### 伝えずにはられない「とっておきの解説集」

日本遺産候補地域「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」をストーリー仕立てで編集した解説本。個々の構成文化財をはじめ、小樽の歴史にまつわるエピソードなど、小樽市民必読の一冊です。(A5判・110頁)



### あなたの会社やお店の広告を載せませんか？

#### ① OTARU HEART JOURNAL 広告

- 年4回発行 ● 発行部数:30,000部
- 掲載料金(税別・1回につき):1枠 50,000円 1/2枠 25,000円
- 大きさ:1枠 縦5.5cm×横15.4cm 1/2枠 縦5.5cm×横7.5cm

#### ② 専用サイト「小樽文化遺産ポータル」広告

- 掲載期間:6ヶ月
- 掲載料金:30,000円(税別)

お申込み・お問合せは  
 株式会社オー・プラン内 日本遺産磨き上げ推進事業広告係  
 TEL.0134-29-1003 Mail.daihyo@o-plan.com

### 歴史文化遺産が醸し出す小樽の魅力



本紙に掲載されている写真のうち、提供元が記載されていない写真については、小樽市日本遺産推進協議会または本紙編集部が所蔵写真です。

次回(第2号)の発行は、9月の予定です。